



'How to' Qualify for the WPSC

1. それぞれのカテゴリーで上位 2 名の選手のみが公式な代表選手となる。
2. 上位2名の選手が大会出場不可能となった場合、定められた出場必要最低ポイントを満たす選手が代わりに出場可能となる。
3. IPSCF の認める各国のナショナル大会で資格を得た選手のみが WPSC 世界大会へ出場する権利を得れる。
4. IPSCF は開催国が増え、多くの国の代表選手が出場することを願っている。

National Championships 【ナショナル大会】

- エリートカテゴリーで1位 2位になった選手は出場必要最低ポイントを満たす満たさない関わらず自動的に WPSC への出場権を得る。
 - これはつまり、エリートカテゴリーで1位 2位になったすべての選手は、スコアに関わらず出場可能となる。
- エリートカテゴリーで3位および4位となった選手は必要最低ポイントを満たしている場合、補欠選手となることができる。それには IPSCF による権利の認可が必要となるため、連携している大会主催者側へ申請をしなければならない。補欠選手は、出場者が確定する大会受付日の前日まで補欠選手として登録されることとなる。
 - これはつまり、もし1位または2位の代表出場選手が WPSC に出場不可となった場合、補欠選手が繰り上がることとなり、そのためどの国も各国2名の代表選手を出場させることができることとなる。



Open Championships 【オープン大会】

ナショナル大会の開催が無い国の選手は、WPSC への出場権利を得るために他国で開催されるオープン大会へ出場することができる。どのオープン大会に対しても、出場選手の数に上限はない。選手は、その年度の大会開催期間中、希望するひとつのオープン大会へのみ出場できる。異なる大会でひとつの国から2名以上の選手が出場権利を得ることを防ぐ為、下記ルールを適用する:

- 各国それぞれ2名の選手のみがそれぞれのカテゴリーで WPSC へ出場権を得る
 - これはつまり、もしひとつの国から8名の選手が4つのオープン大会で1位、または2位となった場合、8名のうち最も点数の高い上位2名のみが WPSC へ出場となる。
- オープン大会の選手のスコアは全て IPSF のウェブサイトにて点数がリスト公開され、オープン大会が開かれるごとにアップデートされる。
 - これはつまり、オープン大会で競う選手はどのオープン大会に出場した場合でも全て公平に WPSC へ出場する権利が得られるためである。
- 最終的に出場資格を得た選手の点数は、最後に開かれたオープン大会開催日の翌日に発表される
 - これはつまり、選手は最後に開かれるオープン大会が開催されるまでは誰が代表選手になるか知らないということである。
- 選手は出場する大会の出場カテゴリーでもなお、表彰される。
 - これはつまり、オープン大会で1位、2位および3位になった選手は、タイトルを得ることができる。例) *Gold medalist of Italian Open Junior category*, や
2nd place winner or Men's category – UK Open.
- それぞれの国で最も点数の高い2人の選手は、必要最低ポイントに満たない場合でも代表選手となる。
 - 例えば、女子シングルカテゴリーで7位、15 ポイントしか点数がない場合でも、その国の選手の中で最高点であればその国の代表選手となる。つまり、ナショナル大会と同様に、点数に関わらず1位の選手は出場権利が得られる。
- 補欠選手についてはナショナル大会と同様である(前項ナショナル大会参照)